

実施の手順と組織との関連において、評価の組織を表3のようにまとめてみたが、各学校の実情により、弾力的な取り扱いが大切である。

表3 評価の手順と組織

段階	手順	組織(例)				
		校長・教頭・教務主任	部会	委員会		全体会(職員会議)
計	教育課程評価の基本講想	○		○		
	共通理解		○		○	○
画	評価計画樹立	○		○		
	評価票作成	○		○	○	
実	評価票の記入		○			○
	評価結果の集計	○	○	○	○	
評価	評価結果の検討					

② 教育課程改善の実施方法

教育課程改善の方法は、各学校の創意工夫によって具体的には異なるが、一般的には次のようである。

- 評価の資料を収集し検討すること。
- 整理した問題点を吟味し、問題の所在と背景を明らかにすること。
- 改善策を立てて、これを教育課程の改善に役立てること。

このようにして、改善策が立てられたならば、それを教育課程の改善に生かすよう最善の努力をすることが大切である。そこで、教育課程改善の

方法について、手順・組織の面から考えてみることにする。

ア 教育課程改善の手順

改善の手順を評価活動の展開過程からみると、評価結果の分析・解釈→記録の整理→教育課程改善方策の樹立の順序で進められているのが一般的である。

教育課程改善におけるこのような手順をP-D-Sの経営過程の考え方に立ち、PDSの三段階に大別して、その主な活動を整理してみると、表4のようになる。

表4 改善のための活動手順

※ 以下、表1の評価活動の手順よりつづく

段階	改善のための活動手順
計 画 (P)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">教育課程改善の基本方針の樹立</div> (・改善の方向性の確立) <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">教育課程改善についての共通理解</div> (・意義・必要性・改善の視点) <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">教育課程改善計画の樹立</div> (・組織・実施期日・日程)
	<div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">改善のための調査研究</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">改善案の審議決定</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">改善作業の実施</div>
	<div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">次年度教育課程経営への反映</div> (・次年度重点目標・努力点の設定 ・具体的な計画改善)

イ 教育課程改善の組織

教育課程経営における組織及び運営については前項の教育課程評価の組織で述べてきたので、ここでは、改善に当たって留意しなければならないことについて述べてみる。